

上山紙業株式会社

設計デザイン力で 新しいパッケージを創造

- 海外可
海発注
- 期納
納相
- コスト
相
- 可作小
試作小
- 産定必
量対



得意とする各種製品パッケージ

業務内容

顧客の商品にあった パッケージづくり

織維製品やお菓子などの商品パッケージづくりを得意にする。現在は、高級紳士靴下の紙箱がメインだが、顧客のニーズや商品のグレードに合わせたパッケージづくりには定評があり、アパレル業界を中心に事業展開する。商品の包装形態の変化に伴ってOPP袋やCPP袋の製造を行うほか、商品に付随するPRカードや説明シール類なども手がける。商品がバランスよく取めることができる箱形状の提案など企画デザイン力も高く、顧客が抱える課題に対応する問題解決型企業として様々なパッケージを提供している。

強み

きめ細かな対応力と 斬新なアイデアが武器

紙箱には、「商品を守る」といった機能だけでなく、装飾やデザインなどにより中におさめられる商品の価値を高めることも要求される。そこで同社では紙質などの選択から始まって、印刷加工や表面加工などについても検討を重ね、低価格化を図りながら高品質のパッケージを提供する。商品マークの見せ方や、それに伴う商品の詰め方など顧客からの要望にきめ細かく対応する。過去にはワンタッチで開封する「組立手さげ箱」や「組立紙箱」などを考案した歴史もあり、斬新なアイデアも取り入れて事業に取り組んでいる。

品質管理

検品などを社内 実施、品質向上を追求

コスト、納期、品質管理などの面

ら最適な協力工場を選び出し、アウトソーシングで効率の良い生産体制を構築する。協力工場の中には障害者施設も含まれており、上山正幸社長は「社会貢献の観点から実施している」という。最終加工や包装検品などは社内でも実施することで品質の維持発展に努める。社内には品質方針と品質目標が書かれたポスターを貼り、現場スタッフに周知徹底を図る。また毎月1回程度のペースで外部から講師を呼んで勉強会を実施している状況で、品質の向上に余念がない。

今後の展望

中国子会社の活用と 企画力強化で発展を狙う

平成25年1月、中国山東省威海市に独资で「威海雄山貿易有限公司」を設立した。これはユーザーの海外生産移行に伴う進出だが、現在は現地印刷会社と連携を取りながら中国国内でのビジネスを加速する。その中で、上山社長は「ネットワークができてつつあり、これまでとは違った分野の企業とのビジネスにつなげていきたい」と抱負を語る。日本国内ではパッケージ表面のデザイン力強化を目的に専門部署も立ち上げた。「今後も「品質」、「コストパフォーマンス」、「企画提案力」で負けない経営基盤を構築していきたい」と意気込む。



企画開発の拠点となる本社

COMPANY PROFILE

上山紙業株式会社

大阪25

当社の歴史

昭和15年、上山正幸社長の父親である上山春雄氏が「上山紙器工業所」を創業。昭和35年 資本金100万円で会社を設立。昭和47年 資本金500万円に増資、新工場を建設、昭和56年、資本金2000万円に増資。昭和62年 倉庫を増設。平成18年 資本金を4000万円に増資。平成25年 威海雄山貿易有限公司(中国山東省威海市)を設立。



代表取締役社長 上山 正幸さん

ユーザー様のニーズに応える商品作りを心掛けます。

■主な事業内容

印刷パッケージ全般、OPP袋、CPP袋、商業印刷、E段美粧ケース、クリアケース、販促ポップ

■主な取引先(納入先)

アパレルメーカー

住所 / 〒570-0061

守口市小春町
2-9

TEL / 06-6992-6861

FAX / 06-6992-6863

創業 / 昭和15年4月

設立 / 昭和35年12月

資本金 / 4,000万円

従業員 / 6名

<http://www7.ocn.ne.jp/~ueyama77/>